

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	5-8
PDCA	主要事業名		はんだまちづくりひろば運営事業		部課名		企画部市民協働課			担当	富安
										内線	32-3430
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 1 - 3 単位施策： 市民活動										
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 231 千円										
	会計		一般会計			歳出科目： 02.01.11.03.03					
	事業概要等		協働のまちづくりを推進するため、市民活動・ボランティア活動を行う団体等の相談事業概要： 業、各種講座の開催、まちひろ登録団体と連携した交流の場の提供や情報収集・提供等を行い、団体活動の支援を行う。								
			事業目的： 市民活動や地域で活動を行う団体等からの相談対応や団体ニーズに合った各種講座の開催、交流の場の提供及び情報収集・提供等を行い、その活動を支援する。								
			事業内容： 市民活動等の拠点として「はんだまちづくりひろば」を運営し、活動環境の提供やスキルアップ講座の開催など、活動団体等に対する支援事業を実施する。								
			問題点・課題等： 活動団体が自発的、自立的に活動を継続していけるよう、支援方法や時代に合った中間支援のあり方を随時調査・研究していく。								
	予算額		主要事業とする理由								
	231 千円		地域が抱える課題や市民ニーズは多様化、複雑化しており、身近できめ細やかな公共サービスを充実させ、誰もが住みやすいまちづくりを進めるうえで、市民活動団体の行う、自発的、自主的な公益的事業が必要不可欠であり、市民活動団体の活動を支える本事業は重要であるため。								
	財源内訳		得られる成果								
市費		関係各課、自治区、学校、事業者、市民活動団体などで連携強化が図られ、持続的な市民協働事業実施が期待できる。									
116 千円		目標値や目指すべき状態									
国費		令和2年度 令和3年度 令和4年度 単位									
115 千円		市民活動等登録団体数 実績値 178 163 ー 団体									
県費		目標値 200 200 200 団体									
0 千円		実績値 目標値 目標値									
その他		実績値 目標値									
0 千円		目標値									
D 実績得られた成果と	決算額		得られた成果								
	192 千円		市民活動支援では、市民活動団体の情報発信力を強化するため市内高校と協働して「市民活動団体向けInstagram講座」を開催した。また、コロナ禍で実施できていなかった「まちひろ交流会」を2回開催し、市民活動団体同士が知り合い協働の取組を始めるきっかけを創ることができた。								
			成果指標								
			令和4年度 単位								
			市民活動等登録団体数 実績値 159 団体								
			目標値 200 団体								
C 課題の整理	事業の評価・課題		令和3年度に実施したはんだまちづくりひろば登録団体へのアンケート結果をもとに、市民活動団体のニーズを把握し、新たな支援講座等を実施することができた。コロナ感染症対策が緩和され市民活動の幅が広がり市民活動団体のニーズも変化していくと思われるため、継続的に市民活動団体のニーズを調査し、市民活動支援の充実に努める必要がある。								
			改善推進								
A 課題解決の方向性	今後の事業の方向性		市民活動団体自身がSNS等を用いて情報発信ができる能力を養う講座や、市民が市民活動団体の活動を知り活動に参加する機会を創出する取組、市民活動団体の活動資金調達につながる新たな取組など、団体のニーズに沿った支援を展開する。								
			必要性 有効性 効率性								
			①市の関与の妥当性 妥当 ④上位施策への貢献 大きい ⑦コスト削減 あり								
			②市民ニーズ 高い ⑤成果向上の余地 あり ⑧受益者負担適正化余地 あり								